

こはやしまりこ

2021~2025
4年間の

財政健全化

CHECK!

チェックと提言

青少年育成

提言



R6年7月からスポーツ少年団の施設利用料が免除(市に登録がある団体に限り)

スポーツ少年団が練習等で市の施設を利用する際に、利用料を徴収していた。軽減措置があるとはいえ、子ども達の多様な活動を見守り、青少年の健全育成の観点に立ち、無償とすべきとR4年12月に提案した。

都市計画

CHECK!



目指す将来像、道路の必要性の説明不十分

市に都市計画マスタープランはあったが、立地適正化計画が未作成のまま放置されていたことを指摘し、R7年3月に策定された。同時に、50年以上前に計画された都市計画道路の見直しも行われ、廃止となった道路がある一方、必要性や目指す将来像が不明のまま、測量設計に進んでいる道路があるが、納得のいく説明は未だない。

公有財産利活用

提言



市長公用車、市をPRするラッピングカーの提案は受け入れられず

市長公用車の買い替えがR7年3月に提案された。距離数と年数での車両入れ替えとの説明があった。現在のもと同等の車種ではなく、ランクを下げて、余剰する予算で市のPRとなるようラッピングを施すように提案したが、受け入れられなかった。提案に反対したが、原案の通り可決された。

市長公用車ばかりではなく公有財産の有効活用を今後も提案していく。

過分な事業の見直しを求めた

ふくらみ続ける市の予算。R7年度当初予算は過去最大の208億! 社会情勢に合わせて人件費や扶助費が増大し、市が独自に行う事業に使うことができる予算は限られている。自主財源は全体の45%あまりであり、財源の多くは国や県の支出金、市債に頼っている。硬直化している財政を分析し、今後も持続可能な財政運営を注視する。

指定管理施設

CHECK!

大菩薩の湯の指定管理者選定の過程、運営に疑問を指摘

指定管理者選考過程に透明性がなく、帳票等を確認できる有識者が委員に含まれていなかったが改善された。

また、3年間の指定管理料は4043万円余だが、未だ赤字である。選定理由の情熱では黒字にはならなかった。施設改修費用や高額な備品購入も含め、市の管理体制を指摘した。

税 税

その他

- ◆ヴェスタ甲州はどこへ?
- ◆補聴器購入費助成を提言
- ◆部活動で移動の際に庁用バスや公用車を利活用しやすくできるよう提言
- ◆廃止となった施設に保管されている備品の有効活用について提言
- ◆市が保管している文化財を余裕教室での展示を提案
- ◆市長の政治姿勢、政治資金の考え
- ◆女性差別撤廃条約選択議定書へ批准を求める意見書の提出
- ◆勝沼ぶどうの丘、予算・決算の指摘
- ◆観光商工振興協議会会長が市長であり、ぶどうの丘からの協賛金の支出は不適切であることを指摘

4年間で

市民の声を議会で市長にぶつけるも...

急速に進む人口減少や物価高騰など、中でも明るい甲州市を目指してやってきました。議会で市民の声を市長にぶつけても、通らないことは多くあり、少し変わったと思っても、違う方向へ行ってしまうこともあり、声を届けるだけで、変えられないという無力感にさいなまれることもありました。

議会は言論の府であり、いかなる圧力でもなく、議論を積み重ねる場と思いますが、現状はそうになっていません。甲州市がさらに良い街へと変わっていくように努力を積み重ねていきます。